



12/7 イノシシの被害対策で最高賞に輝く

国連が定めた「生物多様性の10年」の普及に貢献する個人・団体を表彰する「生物多様性アクション大賞2018」で、県内の若手農家でつくるイノシシ対策チーム「くまもと☆農家ハンター」(宮川将人代表)が、最高賞の農林水産大臣賞を、県内で初めて受賞しました。

情報通信技術を活用した、効率的なイノシシ捕獲から食肉販売までの仕組みを構築していることなどが高く評価されました。(左から稲葉達也さん、宮川さん)



12/19 高齢者叙勲受章表敬訪問

旭日単光章(地方自治功労)を受章した村井民治さん(88)＝豊野町＝が守田憲史市長を表敬訪問しました。

この受章は、村井さんが昭和54年から平成3年まで3期12年にわたり豊野村議会議員を務め、議長、副議長などを歴任し、地方自治の発展に寄与したことが評価されたものです。

「今回の受章は、周囲の支えのおかげ」と感謝の言葉を語りました。(左から守田市長、村井さん、浅井正文副市長)



12/21 高齢者叙勲伝達式

教育の発展に多大な貢献をしたとして、元三角東小校長の長谷圭悟さん(88)＝小川町＝が瑞宝双光章(教育功労)を受章し、市役所で伝達式が行われ、平岡和徳教育長から勲記と勲章が手渡されました。

長谷さんは昭和27年から40年間教員として勤務。保護者からも厚い信頼を得ました。「今回の受章は、多くの人の協力のおかげ。今後も社会貢献を続けたい」と喜びを語りました。(左から平岡教育長、長谷さん)



12/25 全国中学駅伝出場表敬訪問

12月16日に滋賀県野洲市で開かれた全国中学校駅伝大会に、男女とも出場した松橋中の生徒たちが、守田憲史市長に結果を報告しました。3年連続出場の男子は5位、4年ぶり出場の女子は22位という結果でした。

「目標の6位以内を達成できとてもうれしい」「この経験を生かし、高校でも陸上を続けたい」など全国での貴重な経験から得た感想を、一人一人発表しました。(駅伝に出場した松橋中の生徒たち)

叙勲

おめでとうございます。長年にわたる功績は市民の誇りです。掲載の承諾をいただいている方をご紹介します。



旭日小綬章

くすだ ひろし
楠田 浩さん(71)
秋の叙勲 地方自治功労
＝松橋町＝

経歴 昭和55年不知火町議会議員初当選。合併後の平成22年まで8期31年にわたり町議会・市議会議員を務める。平成9～18年不知火町議会議長。初代宇城市議会議長。

31年の議員生活の中で、副議長を4年間、議長を9年間と民主的議会の確立と健全な議会活動の遂行に努め、地方自治の確立に尽力。宇城市誕生にも奔走し、合併後の初代議長を務める。

「地域の発展のために皆さんと一緒にただただ一生懸命に仕事をしてきて、今回の受章は青天のへきれきでとても驚きました。議長を9年間務めることができたのも、同僚議員を含め皆さんの協力のおかげです。これからも地域のため社会貢献していきたいと思います」。



瑞宝双光章

なかやま ひとし
中山 等さん(70)
秋の叙勲 消防功労
＝不知火町＝

経歴 昭和42年高校卒業と同時に不知火町消防団に入団。平成17年に勤続38年で退団。平成5年から宇城市合併の平成17年まで12年間団長を務める。

平成5年、44歳で不知火町消防団長に就任。平成11年の台風18号による高潮災害にも団長として対応。県消防協会の副会長も5年間務める。「高潮の時には堰を越えて大量の海水が入ってきたり、瀧の泥が農地を覆ってしまったりと大変な状態になったが、海水を消防ポンプで排水するなど団員たちにもよく協力してもらいました。今回、このような勲章を頂くことができたのも団員たちの協力があったからこそと感謝しています。今後も消防団OBとして地域貢献していきます」。



瑞宝双光章

あかほし しんじ
赤星 信二さん(71)
秋の叙勲 危険従事者叙勲
＝松橋町＝

経歴 元熊本県警部。昭和40年警察官拝命。平成18年9月熊本南署退職。在職期間41年半。主に警察本部、熊本市内3署で総務課、地域交通課、刑事課などを歴任。

警察官として地域の安全、安心の確保に尽力。特に地域警察部門で地域の事件、事故の防止、解決に貢献。「与えられた職務を懸命に全うし、叙勲を受章できたのは、地域の方々や職場でのご支援、ご協力と妻の献身的な支えのおかげと感謝しています。昭和の激動の時代に第二機動隊員として従事したデモや災害警備、連続放火事件捜査、110番指令業務などが思い出です。今後も警友会宇城支部のボランティア活動に参加するなど微力ながら社会貢献していく所存です」。



瑞宝単光章

にしおか しゅうじ
西岡 修治さん(68)
秋の叙勲 社会福祉功労
＝三角町＝

経歴 三角町出身。中学卒業後、大阪で建設業に従事。両親の介護を機に帰郷し、建設業に勤務する。平成3年から(社)黎明福祉会豊洋園で介護職として勤務している。

「受章の知らせを聞いたときは、想像だにしていなかったので大変驚きました。両親が早くに亡くなり老後を見てあげられなかったことも介護の仕事を選んだきっかけです。建設業から転職したのが43歳と遅かったのですが、定年の延長や非常勤雇用などの対応をしていただいたことが今回の受章につながったと大変感謝しています。この仕事を始めたときは不安もありましたが、自分が選んだ道だと思い頑張りました。70歳を過ぎてもこの仕事を続けていきたいです」。